

(分析方法詳細)

- 「被災影響度」は震災から受けた被災の深刻さを3段階(1<2<3)で表記
 - 「影響を受けている人数」×「学校教育における優先度」の2つの軸から推計(下記に例示)
- 「対策状況」は対策の進み具合を0~3で表記
 - 被災影響度を100%とし、課題に対する対策状況を数値化
 - 例えば、大きな影響が発生していたが、既に対策がなされているもしくは対策の見込みがある場合、被災影響度=3、対策状況=3とそれぞれ表記する
- 「支援優先度」は支援の優先度をA、B、Cで評価
 - 「被災影響度」-「対策状況」で算出
 - 2以上はA、1以上2未満はB、1未満はCとする

影響を受けている人数

被災影響度の評価

50%以上	2	2.5	3
20~50%	1.5	2	2.5
20%未満	1	1.5	2

低 中 高

教育における重要度

- ・課外活動
- ・補習/自習
- ・進路
- ・遊び/居場所
- ・正規授業

支援優先度

- A: 被害が深刻であるが、対策がなされていない(もしくは計画もない)
- B: 被害の深刻度に対し対策が十分でない(もしくは計画が十分でない)
- C: 被害の深刻度に対し対策が十分である(もしくは計画が十分である)